開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1120 海外留学の歴史			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜2限				
教室	D202教室				
代表教員	辻 直人				
担当教員	辻 直人				
テーマと到達目標	①近代日本における海外留学の役割について説明できる。 ②留学生の異文化体験のいくつかについて紹介し論評できる。 ③自らの対外観について客観的に考察できる。				
概要	本講義は日本の近代化過程における海外留学の果たした役割や特徴について明らかにし、留学という経験が近代日本にとってどのような意義を持っていたのか考察することを目的とする。具体的には留学の動向や特徴の変化、留学人数の推移などマクロの視点と、留学生個人々人の留学先での異文化体験といったミクロの視点双方から検討し、多面的に留学の意義を明らかにしていく。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション (授業概要、授業方法、成績評価等について)				対面授業
第2回	なぜ海外留学をするのか。日本人にとって海外とは、留学とは何かを考える。				対面授業
第3回	近代日本における海外留学史の時期区分と留学の種類				対面授業
第4回	幕末の海外留学				対面授業
第5回	明治時代の海外留学 (1) 制度的考察				対面授業
第6回	明治時代の海外留学 (2) 官費留学生たちの留学経験				対面授業
第7回	大正時代 (1920年前後) の海外留学の特徴 官費留学を中心に				対面授業
第8回	私費留学生の動向 渡米熱について				対面授業
第9回	留学先の変遷 ドイツ留学とアメリカ留学				対面授業
第10回	私立学校と海外留学				対面授業
第11回	留学生の異文化体験 (1)				対面授業
第12回	留学生の異文化体験 (2)				対面授業
第13回	留学生の異文化体験 (3)				対面授業
第14回	現代の海外留学事情：大衆化の時代				対面授業
第15回	留学史を学ぶ意義、何が見えてきたのか (まとめ)				対面授業
成績評価の基準	毎回のコメント・課題。授業態度 50% 期末レポート 50%				
履修にあたっての留意事項	万が一オンライン授業の必要が生じた時は、資料配信型授業 (和光ポータルを使用) になる。				
オンライン授業方式 (同時双方向型・オンデマンド型) の詳細					
【種別】人数制限 (抽選) 授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし。		
教科書	プリントで対応する。	教科書(ISBN)	
参考文献	辻直人『湯浅八郎の留学経験 アメリカにおけるキリスト教国際主義との出会いとその影響』教文館、2023年。 辻直人『近代日本海外留学の目的変容 文部省留学生の派遣実態について』東信堂、2010年。 辻直人「留学の日本近代化に果たした役割」、慶應義塾福沢センター『近代日本研究』第36巻、2019年度。 石附実『近代日本の海外留学史』中公文庫、1992年。 その他、適宜講義内で紹介する。	参考文献(ISBN)	